

科目名	保健医療政策概論			code : HPM 201	必修 (選択必修)	2 単位
-----	----------	--	--	----------------	--------------	------

科目責任者	山本 秀樹 教授						
配当年次	1年次	配当学期	前期(前半)	曜日・時限	火曜 3、4時限	授業方法	講義

到達目標	我が国の保健医療政策について歴史および現状を知り、保健医療政策に関する基本的な考え方を身につけ、実際に保健医療専門職として従事する場合に、国・自治体、国際機関などの政策を理解した上で自分の専門業務を行うことができる能力の基礎を育成する。					
	保健医療政策とは限られた保健医療資源を如何に適正に分配するための原理・原則と行動計画を策定することにある。保健医療政策とは幅広い分野であり、この講義では我が国の保健医療政策を中心に基本事項を中心にするが、国際的視野で学ぶことを目指す。 *：本科目の「医療管理学・安全管理学概論」とは <u>選択必修</u> で、いずれかの科目を1科目履修すること。					
授業計画	回数	日付	時限	担当者	授業内容	
	1	4/7(火)	3	山本 秀樹 教授	オリエンテーション (健康とは？保健医療政策について)	
	2	4/7(火)	4	山本 秀樹 教授	医療資源の配分に関する考え方 (公衆衛生と倫理・人権的側面)	
	3	4/14(火)	3	山本 秀樹 教授	我が国の保健医療政策の歴史	
	4	4/14(火)	4	井口 直樹 教授	我が国の保健医療政策の概要(現状)	
	5	4/21(火)	3	山本 秀樹 教授	医療費・医療サービスの価格の仕組みについて	
	6	4/21(火)	4	山本 秀樹 教授	我が国の医療保険制度について	
	7	4/28(火)	3	山本 秀樹 教授	世界の公衆衛生の課題について	
	8	4/28(火)	4	山本 秀樹 教授	世界の医療制度・医療保険制度について	
	9	5/12(火)	3	橋本 英樹 講師(非)	健康と社会的決定要因 (1)	
	10	5/12(火)	4	橋本 英樹 講師(非)	健康と社会的決定要因 (2)	
	11	5/19(火)	3	田宮菜奈子 講師(非)	Health Service research 保健医療サービスの質・その評価について	
	12	5/19(火)	4	田宮菜奈子 講師(非)	高齢者福祉医療・介護保険制度について (3)	
	13	5/26(火)	3	山本 秀樹 教授	保健医療統計と政策評価について	
	14	5/26(火)	4	高橋 謙造 准教授	感染症対策・母子保健対策(ワクチンの評価について)	
	15	6/2(火)	3	山本 秀樹 教授	まとめ	
試験	6/2(火)	4	山本 秀樹 教授	試験		

事前準備 学習	<p>本コースでは、受講生の間での討論を重視するので、講義中に指示された資料・参考書・文献・ビデオを事前に熟読しておくこと。</p> <p>b学期で開講される「国際保健学概論〔火曜日、3-4時限〕」の中で行われる渋谷健司教授の講義〔2コマ〕も受講すること。</p>
テキスト	<ul style="list-style-type: none"> ・特に指定しない〔講義開始時に参考書・教材を指示する〕
参考書	<ul style="list-style-type: none"> ・国民衛生の動向 2013/2014(厚生統計出版)、 ・入門 医療政策、真野俊樹著(中公新書)2012年 ・OECD publications (Health at a glance 2013:OECD Indicators , Health Care Quality Indicators Project Initial Indicators Report - OECD Health Working Papers No.22, 2006他) ・Encyclopedia of Bioethics (丸善) 他
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・最終試験(70%)、レポート(20%)、講義における議論の参加度(10%)で総合評価する。

科目名:	医療管理学・安全管理学概論	code : HPM-202	必修 (選択必修)	2 単位
------	----------------------	-------------------	--------------	------

科目責任者	中田 善規 教授						
配当年次	1年次	配当学期	前期(前半)	曜日・時限	月曜 3、4、5時限	授業方法	講義

到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 医療管理の基本的経営手法を理解する。 2. 医療安全上の問題点を正確に把握し、解決方法を提示する。
------	---

授業の概要	<p>医療現場では様々な問題が日々起こり、それに対して適切な対応を適時に求められる。そのためには医療現場の現状を知り、起こりうる問題の根本原因を見いだせることが必要となる。本講では医療現場の現実やその問題点を管理者の立場で理解する。また、医療管理に必要な経営学・経済学なども身につけることを目標にする。具体的には医療管理上必要な医療組織・法律・医療制度・医療安全管理・医療倫理等を概観し、それぞれの問題点について議論し理解を深めてゆく。また昨今マスコミなどで話題となっている医療問題についても適宜取り上げて、その根本原因を議論しながら複雑な医療制度・体制・組織を理解する一助とし、将来医療管理者の立場に立ったときに応用できるように準備する。</p> <p>*:保健医療政策概論と選択必修とする。</p>
-------	---

授業計画	回数	日付	時限	担当者	授業内容
	1	4/13(月)	3	中田 善規 教授	導入
	2	4/13(月)	4	上野 京子 講師(非)	有害事象の未然防止(上野・安全管理部/専従安全管理者)
	3	4/20(月)	3	中田 善規 教授	会計学の基礎
	4	4/20(月)	4	川崎 義隆 講師(非)	医療機器に関する安全管理(川崎・安全管理部/ME部)
	5	4/27(月)	3	中田 善規 教授	医療と会計学
	6	4/27(月)	4	坂本 哲也 教授	医療安全と医療訴訟の基本(坂本・安全管理部/管理担当副院長)
	7	5/1(金)	3	内田れい子 講師(非)	苦情相談への対応(内田・患者相談室)
	8	5/1(金)	4	松永 直久 講師	感染症に関する安全管理(松永・感染制御部/部長)
	9	5/11(月)	3	成松 宏人 講師(非)	分子疫学と医療体制①
	10	5/11(月)	4	森 健 講師(非)	暴力対応・刑事事件化対応など(森・安全管理部/総務課調査役)
	11	5/18(月)	3	成松 宏人 講師(非)	分子疫学と医療体制②
	12	5/18(月)	4	渡邊真知子 教授	薬剤に関する安全管理(渡邊・安全管理部/薬剤部長)
	13	5/25(月)	3	成松 宏人 講師(非)	分子疫学と医療体制③
	14	5/25(月)	4	松野 彰 教授	発生した有害事象への適切な対応(松野・安全管理部/部長)
	15	5/25(月)	5	中田 善規 教授	組織行動管理・まとめ
※帝京大学医学部附属病院安全管理部会のメンバーを招聘しての講義またはスモール・グループ・ディスカッションなどの形式で議論する。					

事前準備	・第1回講義時に指定する書籍(参考書・論文など)を当該授業までに熟読し、授業中に行う議論の準備をする。
------	---

テキスト	・なし
------	-----

参考書	・第1回講義時に指定する。
-----	---------------

評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的な授業参加、討論の論点の把握と対応力:50% ・レポート提出:50%
------	---

科目名	医療経済学	code : HPM-BIZ 211	選択	2 単位
-----	-------	--------------------	----	------

科目責任者	中田 善規 教授						
配当年次	1・2年次	配当学期	前期(後半)	曜日・時限	月曜 3、4時限	授業方法	講義

到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. ミクロ経済学的ツールを用いて医療問題を分析する。 2. 現在日本が直面する医療に関する問題を経済学的視点から理解し、解決方法を提示する。
------	--

授業の概要	<p>医療は大きな社会システムの一部である。その医療を正確に分析するには社会システム分析ツールである経済学が必要である。特にミクロ経済学は絶対不可欠な分析ツールである。また医療経済学で語られる言葉も大半は厳密な経済学的定義があり、それを正確に理解しておくことが有意義な議論の第一歩となる。本講ではすべての基礎となるこの古典的ミクロ経済学を初歩から徹底的に理解し、それを医療に的確に応用できるようになることを目標とする。具体的には初級ミクロ経済学を医療者向けにアレンジして解りやすく時間をかけて講義する。さらに現在社会問題となっている医療問題を取り上げて、ミクロ経済学的分析を応用して問題の経済学的原因を議論する。</p>
-------	--

回数	日付	時限	担当者	授業内容
1	6/8(月)	3	中田 善規 教授	導入:医療と経済学①
2	6/8(月)	4	中田 善規 教授	経済学的思考・相互依存と交易の利益②③
3	6/15(月)	3	中田 善規 教授	医療の需要・供給と平衡④⑥
4	6/15(月)	4	中田 善規 教授	医療の弾力性⑤
5	6/22(月)	3	小林 廉毅 講師(非)	不確実性と保険1
6	6/22(月)	4	小林 廉毅 講師(非)	不確実性と保険2
7	7/6(月)	3	中田 善規 教授	医療消費者・医療生産者と市場効率⑦
8	7/6(月)	4	中田 善規 教授	税のコスト⑥⑧
9	7/13(月)	3	中田 善規 教授	外部性・公共財と共有資源⑩⑪
10	7/13(月)	4	中田 善規 教授	患者の需要理論(消費者選択理論)⑫
11	7/23(木)	3	中田 善規 教授	医療の生産理論・生産費用⑬
12	7/23(木)	4	中田 善規 教授	完全競争市場での医療の価格と生産⑭
13	7/27(月)	3	中田 善規 教授	独占での医療の価格と生産⑮
14	7/27(月)	4	中田 善規 教授	独占的競争と寡占の下での医療の価格と生産⑯⑰
15	8/3(月)	3	中田 善規 教授	まとめとテスト

※授業計画:講義とグループワーク、討論を適宜組み合わせる。(①②などは教科書の予習すべき章を示す。)

事前準備	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の各章を当該授業までに熟読し、授業中に行う議論の準備をする。
------	--

テキスト	<ul style="list-style-type: none"> ・Mankiw NG. Principles of microeconomics. 5th Ed. Cengage Learning, Mason, OH. 2008 (訳本:マンキュー経済学第2版ミクロ編、東洋経済新報社)
------	--

参考書	<ul style="list-style-type: none"> ・柿原浩明 入門医療経済学。日本評論社、2005年 ・その他一般的なミクロ経済学教科書
-----	--

評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的な授業参加、討論の論点の把握と対応力:50% ・講義内でのテスト:50%
------	---

科目名	医療保障政策論	code : HPM-BIZ 212	選択	2 単位
-----	---------	--------------------	----	------

科目責任者	井口 直樹 教授						
配当年次	1・2年次	配当学期	後期(前半)	曜日・時限	火曜 4、5時限	授業方法	講義

到達目標	保健医療(とくに医療)分野における行政制度・政策の概要、政策課題について理解し、今後保健医療の現場において指導的な役割を果たすための基礎的知識を得るとともに、今後の保健医療政策のあり方について自ら考え提案できる力を養うことを目標とする。				
授業の概要	我が国の社会保障保障制度全体における保健医療制度の位置づけを理解しつつ、我が国の保健医療制度の現状、課題につき医療提供体制及び公的医療保険制度のあり方を中心に検討する。また併せて介護保険制度など他の福祉制度との連携の在り方についても考えていく。なお、授業はなるべく双方向的に進めたいと考えているので積極的意欲をもった参加者を期待する。				
授業計画	回数	日付	時限	担当者	授業内容
	1	9/15(火)	4	井口 直樹 教授	社会保障とは～歴史と理論
	2	9/15(火)	5	井口 直樹 教授	日本の社会保障制度の現状と課題
	3	9/29(火)	4	井口 直樹 教授	日本の保健医療政策～政策体系と政策立案プロセスを考える
	4	9/29(火)	5	井口 直樹 教授	医療保障政策とは～医療サービスの特性と公的関与の必要性
	5	10/6(火)	4	井口 直樹 教授	医療提供体制Ⅰ～医療施設と医療マンパワー
	6	10/6(火)	5	井口 直樹 教授	医療提供体制Ⅱ～地域医療計画
	7	10/13(火)	4	井口 直樹 教授	公的医療保険制度Ⅰ～公的医療保険の仕組みと必要性
	8	10/13(火)	5	井口 直樹 教授	公的医療保険制度Ⅱ～日本の公的医療保険制度の現状と課題
	9	10/20(火)	4	井口 直樹 教授	公的医療保険制度Ⅲ～医療保険改革①(医療費適正化対策)
	10	10/20(火)	5	井口 直樹 教授	公的医療保険制度Ⅳ～医療保険改革②(制度再編と財政調整)
	11	10/27(火)	4	井口 直樹 教授	諸外国の医療保障制度～ドイツ・英国・米国
	12	10/27(火)	5	井口 直樹 教授	公的医療保険制度と介護保険制度～在宅医療・介護を考える
	13	11/10(火)	4	井口 直樹 教授	今後の社会保障制度改革と保健医療政策の行方
	14	11/10(火)	5	井口 直樹 教授	「あるべき医療のあり方」について～討論①
15	11/17(火)	4	井口 直樹 教授	「あるべき医療のあり方」について～討論②	
事前準備	事前に池上直己『ベーシック医療問題』(日本経済新聞社)、島崎謙治『日本の医療』(東京大学出版会)などを読んでおくことを期待する。				
テキスト	とくに用いない。必要に応じ資料を配布する。				
参考書	上記文献のほか、厚生労働省『厚生労働白書』(厚生労働省HP)、厚生労働協会『国民衛生の動向』など				
評価方法	授業における発言、提出レポートなどにより総合的に評価する。				

科目名	医療経営学演習	code : HPM-BIZ 301	選択	2 単位
-----	---------	--------------------	----	------

科目責任者	中田 善規 教授						
配当年次	1・2年次	配当学期	後期(前半)	曜日・時限	月曜 3、4時限	授業方法	講義

到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 医療経済学の標準的理論を学習し、基本的分析ツールを理解する。 2. 医療経営上の具体的問題点を経済学的観点から把握し、これを分析する能力を涵養する。
------	--

授業の概要	<p>医療経営においては通常の経営学の知識のみならず、医療現場の現実にも精通していることが重要である。特に医療従事者はほぼすべて免許を持つ専門職であるため、通常の経営学的手法での管理は困難な場合がある。さらに外部要因として医療は厳しく規制された産業である。この制約の中で医療従事者たちが本来の専門能力を十分に発揮できるシステム・仕組みを構築し状況に合わせて維持してゆくことが医療経営の要であり、ひいては患者が医療の恩恵を十分に享受できるようになる。本講では、通常の経営学的な知識(ミクロ経済学・会計学・人材管理学・組織行動学など)を医療現場でどのように適応させるかについて理解することを目標とする。同時に医療現場の現実に関する知識も身につける。</p>
-------	--

回数	日付	時限	担当者	授業内容	
				回数	日付
1	9/14(月)	3	中田 善規 教授	導入・解説・輪読分担決定(第1章)	
2	9/14(月)	4	中田 善規 教授	医療経済学のためのミクロ経済学ツール(第2章)	
3	9/28(月)	3	中田 善規 教授	健康の生産(第5章)	
4	9/28(月)	4	中田 善規 教授	医療の生産・費用・技術(第6章)	
5	10/5(月)	3	中田 善規 教授	健康資本の需要(第7章)	
6	10/5(月)	4	中澤 達 講師(非)	DPCに関する諸問題	
7	10/19(月)	3	中田 善規 教授	健康保険の需要と供給(第8章)	
8	10/19(月)	4	中田 善規 教授	消費者選択と需要(第9章)	
9	10/26(月)	3	中田 善規 教授	非対称情報とエージェンシー(第10章)	
10	10/26(月)	4	大嶽 浩司 教授(客)	医療を取りまく経済と経営	
11	11/2(月)	3	中田 善規 教授	健康保険市場の構成(第11章)	
12	11/2(月)	4	中田 善規 教授	マネージド・ケア(第12章)	
13	11/9(月)	3	中田 善規 教授	非営利組織(第13章)	
14	11/9(月)	4	中田 善規 教授	医療保険・年金・福祉など	
15	11/16(月)	3	中田 善規 教授	議論とまとめ	

※授業出席者全員による分担報告、相互討論と教官による補足コメント等を組み合わせる(輪読形式)。教科書の第5章から第13章を順番に学生が報告する。

事前準備	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の各章を当該授業までに熟読し、授業中に行う議論の準備をする。
------	--

テキスト	<ul style="list-style-type: none"> ・Folland S, Goodman AC, Stano M. The economics of health and health care. 7th Ed. Pearson, Upper saddle River, NJ. 2013
------	---

参考書	<ul style="list-style-type: none"> ・橋本英樹、泉田信行:医療経済学講義 東京大学出版会 2011
-----	---

評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーション・積極的な授業参加・討論の論点の把握と対応力で評価する。
------	--

科目名:	医療情報学概論	code : HPM-INF 221	選択	2 単位
------	----------------	--------------------	----	------

科目責任者	中田 善規 教授						
配当年次	1・2年次	配当学期	後期(前半)	曜日・時限	水曜 3、4時限	授業方法	講義

到達目標	医療の特質をふまえ、最適な情報処理技術に基づき、医療情報を安全かつ有効に活用・提供することができる知識・技術を身につける。				
授業の概要	臨床の現場では、診療、診断、治療など様々な場面で、数多くの形式や特徴を持つ情報(臨床検査値や画像データ、医薬品情報、診療録など)を効率よく処理する必要がある。そのために必要な基本的知識を身につけると同時に、これから重要となる医療情報標準化(HL7、DICOMなど)や3Dバーチャルデータの特徴などについて理解する。また、臨床以外の医療制度や病院管理、社会医学などで必要となる医療情報に関する基礎知識も身につける。				
授業計画	回数	日付	時限	担当者	授業内容
	1			中田 善規 教授	医療情報の特性と医療情報システム
	2			中田 善規 教授	医療情報倫理
	3			中田 善規 教授	病院情報システムの構成と機能
	4			中田 善規 教授	病院情報システムのハードウェア
	5			中田 善規 教授	病院情報システムの導入と管理
	6			中田 善規 教授	医療・福祉・保健情報システム
	7	平成27年度 開講なし		中田 善規 教授	広域医療情報システム
	8			中田 善規 教授	医療情報の標準化
	9			中田 善規 教授	医療情報のデータ分析と評価
	10			中田 善規 教授	臨床医学と医療プロセス
	11			中田 善規 教授	臨床検査と画像診断
	12			中田 善規 教授	処置・治療と看護
	13			中田 善規 教授	診療録およびその他医療記録
	14			中田 善規 教授	医療安全管理と施設管理
15			中田 善規 教授	まとめ	
事前準備	・教科書の各章を当該授業までに熟読し、授業中に行う議論の準備をする。				
テキスト	・「医療情報サブノート」 篠原出版新社				
参考書	・「医療情報 医療情報システム編」 篠原出版新社 ・「医療情報 医学・医療編」 篠原出版新社				
評価方法	・講義の課題(ミニレポート)50%+試験50%				

科目名	医療情報学演習	code : HPM-INF 321	選択	1 単位
-----	---------	--------------------	----	------

科目責任者	中田 善規 教授						
配当年次	1・2年次	配当学期	前期(前半)	曜日・時限	火曜 2時限	授業方法	演習

到達目標	コミュニケーションの礎となる情報を手許に手繰り寄せ、伝達していくための基礎的方法を学ぶ。また、公衆衛生の実践における問題解決能力に与するよう、多様なステークホルダーとの間の戦略的な情報活用能力を身につける。						
授業の概要	医療現場における諸問題に対処するために必要な能力のうち、「情報」に関する部分を俯瞰的、多面的に取り扱う。1) 情報の取得能力を左右する、文献検索をはじめとする検索能力、2) 情報システムのハードおよびソフトの体系的理解、3) 情報を役立てるための共有・アーカイブ・マネジメントの理論および倫理について、演習の形で実践的テクニックおよび思考回路を身につける。						
授業計画	回数	日付	時限	担当者		授業内容	
	1	4/7(火)	2	中田 善規 山村 朋子	教授 助手	コンピュータとネットワークの基礎 (ハードウェアとソフトウェア、OSとアプリケーション、通信プロトコル)	
	2	4/14(火)	2	中田 善規 山村 朋子	教授 助手	各種ネットワークサービス(WWW、メール、FTP、DHCP、DNS) 情報セキュリティとクラウド・サービス	
	3	4/21(火)	2	中田 善規 山村 朋子	教授 助手	文献書誌情報(citation)の管理	
	4	4/28(火)	2	中田 善規 山村 朋子	教授 助手	書誌情報と検索(サーチのストラテジー) I :クエリとインデックス	
	5	5/12(火)	2	中田 善規 山村 朋子	教授 助手	書誌情報と検索(サーチのストラテジー) II :ブール演算	
	6	5/19(火)	2	中田 善規 山村 朋子	教授 助手	書誌情報と検索(サーチのストラテジー) III:メタデータ・統制語彙・シソーラス	
	7	5/26(火)	2	中田 善規 山村 朋子	教授 助手	リレーショナル・データベースの概念と活用(Excel、Access)	
	8	6/2(火)	2	中田 善規 山村 朋子	教授 助手	[まとめ] 検索可能な情報とその共有: 効果的な情報発信と受信のために	
事前準備	リーディング、課題を事前に指定することがある。						
テキスト	適宜資料を配布する。						
参考書	・梅棹忠夫「情報の文明学」 中公文庫						
評価方法	演習の課題、レポートにより評価し、判定する。						

科目名	医療管理学実習			code : HPM-INF 351	選択	1 単位
科目責任者	中田 善規 教授					
配当年次	1・2年次	配当学期	夏季(8月)	曜日・時限	(個別設定)	授業方法
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 医療管理上の問題を実地体験する。 2. 管理上の問題点を的確に把握し、解決方法を提示する。 					
授業の概要	<p>医療経営・管理・経済学の理論を踏まえたうえで、現実の医療現場を経営・管理・経済学の視点から見て、その問題点を把握することが重要である。一専門職としてではなく、一步離れた立場から問題点を俯瞰し、全体最適化を目指すトレーニングを行う。本実習では医療現場が実際に直面する問題を例として取り上げ、その解決の可能性をグループ・プロジェクトとして議論・提示して、現代の医療の抱える問題点を実感することを目標とする。実習する医療現場としては下記の3つの選択肢の中から選ぶ。</p> <p>尚、医療管理学概論の履修を前提とする。</p>					
授業計画	回数	日付	時限	担当者	授業内容	
	<p>I. 帝京大学医学部附属病院での医療管理学実習</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 事務次長または実習担当者の指示に従い、病院各部門の実務を見学する。 2. 単位認定希望者のみ附属病院における医療管理上の問題点を発見しその解決案を報告する(A4版2～3枚程度)。 3. 提出された報告書は、附属病院幹部にも配布して実際の業務改善につなげる予定である。 <p>II. 他施設での医療管理学実習</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 医療管理学実習は1単位なので、それ相当のコミットメントが必要となる。 2. 単位認定希望者のみ実習施設における医療管理上の問題点を発見しその解決案を報告する(A4版3枚程度)。 <p>尚、授業日時については、夏季休業前に本科目履修希望者と指導教員にて個別に設定する。</p>					
事前準備	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの実習課程で決められた事前課題を予習する。 					
テキスト	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし 					
参考書	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし 					
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・実習への積極的参加:50% ・実習テーマに関するレポート:50% 					

科目名	リーダーシップ・マネジメント論	code : HPM-BIZ 211	選択	1 単位
-----	-----------------	-----------------------	----	------

科目責任者	中田 善規 教授						
配当年次	1・2年次	配当学期	後期(前半)	曜日・時限	水曜 2時限	授業方法	講義

到達目標	医療は大きな社会システムの一部である。その医療も人間から成り立つ組織であることには変わりはない。そうした医療に関する組織でリーダーシップを発揮し組織に貢献するには人間組織の理解が不可欠である。本講義では、組織一般の理解を深めるために一般の経営学を基礎にした学習を行う。また、いわゆる正解のない分野であるため、異なる視点からの討論を中心に講義を進める。これらの内容を通じて、公衆衛生分野で将来のリーダーとなるべき人材として必須の知識・技能を修得することを基本目標とする。
------	--

授業の概要	<ol style="list-style-type: none"> 1. 人間組織一般について説明できる 2. その一般理論を保健医療の分野に応用できる
-------	---

授業計画	回数	日付	時限	担当者	授業内容
	1	9/16(水)	2	中田 善規 教授	導入
2	9/30(水)	2	中田 善規 教授	リーダーシップ	
3	10/7(水)	2	中田 善規 教授	組織の質の改善	
4	10/14(水)	2	中田 善規 教授	人材管理戦略	
5	10/21(水)	2	石川ひろの 講師(非)	コミュニケーション①	
6	10/28(水)	2	石川ひろの 講師(非)	コミュニケーション②	
7	11/4(水)	2	石川ひろの 講師(非)	コミュニケーション③	
8	11/11(水)	2	石川ひろの 講師(非)	コミュニケーション④	

事前学習	・指定文献を授業出席者全員が事前に読むことを求める。
------	----------------------------

テキスト	・各授業で予習すべき文献を指定する。
------	--------------------

参考書	<ul style="list-style-type: none"> ・Drucker PF. Management: tasks, responsibilities, practices. Harper, 1973 ・岩崎夏海:もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの「マネジメント」を読んだら ダイヤモンド社 2009年P.F.ドラッカー 著、上田惇生編訳「エッセンシャルズ版マネジメント―基本と原則」ダイヤモンド社 2013年
-----	--

評価方法	・プレゼンテーション・積極的な授業参加・討論の論点の把握と対応力で評価する。
------	--

科目名	地域保健学	code : HPM-CH 221	選択	2 単位
-----	-------	----------------------	----	------

科目責任者	高橋 謙造 准教授						
配当年次	1・2年次	配当学期	前期(後半)	曜日・時限	火曜 1, 2時限	授業方法	講義・演習

到達目標	地域における健康と保健・医療に関する課題の発見、コミュニティづくり、ステークホルダーと協働した問題解決を行うのに必要な、理論的知識、実践能力、および研究手法を身につける。
------	---

授業の概要	地域保健に関して、 1) 住民／患者の視点:健康づくり、医療の利用、患者医師関係、医療情報利用の観点 2) 医療提供者の視点:家庭医療、地域医療の現場における医療活動、住民・患者との関係構築の観点 3) 地域社会の視点:さまざまなステークホルダーの協働による健康なまちづくり、コミュニティづくりの観点から、公衆衛生専門家として課題発見、解決、研究活動を行うことができるようになることをめざし、講師および受講生同士でディスカッションを行う。
-------	--

回数	日付	時限	担当者		授業内容
1	6/9(火)	1	高橋 謙造	准教授	プライマリ・ヘルス・ケアからヘルス・プロモーションへ
2	6/9(火)	2	高橋 謙造	准教授	地域におけるフィールド調査概論
3	6/16(火)	1	石崎 達郎	講師(非)	高齢社会における地域保健医療と研究事例
4	6/16(火)	2	石崎 達郎	講師(非)	高齢社会における地域保健医療と研究事例
5	6/23(火)	1	高橋 謙造	准教授	地域診断概論(計画・立案)
6	6/23(火)	2	高橋 謙造	准教授	地域診断概論(調査・分析・データの取り扱い)
7	6/30(火)	1	小林 潤	講師(非)	サポーターシップ・スーパービジョン
8	6/30(火)	2	小林 潤	講師(非)	サポーターシップ・スーパービジョン
9	7/7(火)	1	高橋 謙造	准教授	プロジェクトサイクルマネジメントを用いた活動計画の立案(講義/実習)
10	7/7(火)	2	高橋 謙造	准教授	プロジェクトサイクルマネジメントを用いた活動計画の立案(実習1)
11	7/14(火)	1	高橋 謙造	准教授	プロジェクトサイクルマネジメントを用いた活動計画の立案(実習2)
12	7/14(火)	2	高橋 謙造	准教授	プロジェクトサイクルマネジメントを用いた活動計画の立案(実習3)
13	7/21(火)	1	高橋 謙造	准教授	発表・討論・まとめ
14	7/21(火)	2	松浦 正明	教授	反応が生存時間の場合の共変量調整(コックス比例ハザード分析)
15	7/28(火)	1	根本明日香	講師	その他の統計解析手法(経時データ解析など)

事前準備	履修学生に事前に配布する。
------	---------------

テキスト	特に指定しない。
------	----------

参考書	1. 日本の保健医療の経験 http://jica-ri.jica.go.jp/IFIC_and_JBICI-Studies/jica-ri/publication/archives/jica/field/200403_02.html 2. 開発援助のためのプロジェクト・サイクル・マネジメント:参加型計画編 http://www.fasid.or.jp/publication/6_index_detail.shtml 3. Supportive supervision/mentoring and monitoring for community IYCF http://www.unicef.org/nutrition/files/Supervision_monitoring_module_Nov_2012.pdf 4. Guidelines for Implementing Supportive Supervision. A step-by-step guide with tools to support immunization http://www.path.org/vaccineresources/files/Guidelines_for_Supportive_Supervision.pdf
-----	--

評価方法	講義・演習の課題50%、発表およびレポート50%
------	--------------------------

科目名	地域保健学実習	code : HPM-CH 361	選択	1 単位
-----	---------	----------------------	----	------

科目責任者	高橋 謙造 准教授
-------	-----------

配当年次	1・2年次	配当学期	夏期(9月)	曜日・時限	個別設定	授業方法	実習
------	-------	------	--------	-------	------	------	----

到達目標	「地域保健学」の授業内容にもとづき、 ①地域保健医療の現場でフィールドワークを通して、現状と課題を述べることができる。 ②ステークホルダーと協働して、コミュニティにおける活動の計画立案を行うことができる。 ③活動の評価について研究計画を立案できる。
------	---

授業の概要	地域の保健医療福祉のフィールドを訪問し、ステークホルダーへのインタビュー、地域保健活動への参加などを通して、公衆衛生専門家の観点から問題発見、解決、研究方法について考察する。「地域保健学」の履修を前提とする。
-------	--

	回数	日付	時限	担当者	授業内容
授業計画	<p>学生、担当教員、現地受け入れ担当者との相談により、フィールドにおける実習スケジュールを計画する。実習日時についても、相談の上、個別に設定する。</p> <p><実習テーマ・訪問先> 1) フィールド実習(日本の離島での訪問看護等) 2) 在宅医療施設 等 3) フィールド調査実習(ラオス国チャンパサック県等)</p>				

事前準備	個別に指示する。
------	----------

テキスト	特に指定しない。
------	----------

参考書	特に指定しない。
-----	----------

評価方法	現地での実習参加50%、およびレポート50%
------	------------------------

科目名	国際保健概論	code : HPM-GH 231	選択	2 単位
-----	--------	-------------------	----	------

科目責任者	井上まり子 講師						
配当年次	1・2年次	配当学期	前期(後半)	曜日・時限	火曜 3、4時限	授業方法	講義

到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・現在のグローバル・ヘルスに関する代表的な課題を人口統計や健康指標を用いて説明できる。 ・世界で問題になる主要な公衆衛生の問題(貧困、母子保健、感染症、非感染性疾患など)の概要と現在の対策を述べられる。 ・グローバル・ヘルスの過去から現在に至る世界での取り組みや国際援助の概要を把握して説明できる。 ・上記課題に関する各種ステークホルダーの役割を理解できる。
------	--

授業の概要	<p>国際保健を理解するうえで重要な健康指標と各種疾病の現状について学び、統計情報を用いて問題の程度を説明できるようにする。公衆衛生の課題は現在国際社会で優先度を高めている。世界全体でのグローバル・ヘルスの取り組みや昨今の国際的な公衆衛生政策について理解を深める。各課題に対する国際社会での方針や合意など世界の動向に注目する。</p> <p>特に、個別の内容である母子保健、学校保健、感染症対策、非感染性疾患(Non-Communicable Diseases: NCD)等の主要課題について背景と問題点を整理し、これらの状況をとりまく医療人類学の素養や保健医療システムの評価、財政といった内容も検討する。</p> <p>行政や国際機関等で活躍した実務経験のある教員により、現場の問題への取り組み方の実践を学ぶ。</p>
-------	--

回数	日付	時限	担当者		授業内容
1	6/9(火)	3	山本 秀樹 教授 高橋 謙造 准教授 井上 まり子 講師		授業オリエンテーション グローバル・ヘルス -国際的取組の流れ-
2	6/9(火)	4	井上まり子 講師		人口転換と疫学転換 -Non-Communicable Diseases-
3	6/16(火)	3	高橋 謙造 准教授		母子保健
4	6/16(火)	4	高橋 謙造 准教授		子どもの健康 -世界における学校保健の取り組み-
5	6/23(火)	3	山本 秀樹 教授		感染症(1) (HIV/AIDS、結核)
6	6/23(火)	4	山本 秀樹 教授		感染症(2) (新興感染症・再興感染症・顧みられない熱帯病(NTD))
7	6/30(火)	3	山本 秀樹 教授		環境と健康 (気候変動と感染症(マラリアを含む)), Education for Sustainable Development (ESD)
8	6/30(火)	4	山本 秀樹 教授		グローバル・ヘルスと社会・文化 -医療人類学
9	7/7(火)	3	山本 秀樹 教授		在日外国人の保健医療の問題
10	7/7(火)	4	井上 まり子 講師		Universal Health Coverage
11	7/14(火)	3	渋谷 健司 講師(非)		グローバル・ヘルスの最新動向
12	7/14(火)	4	渋谷 健司 講師(非)		Global Burden of Diseases & Global Health Policy and Practices
13	7/21(火)	3	井上 まり子 講師		喫煙とアルコール -生活習慣・健康リスク・公衆衛生と社会政策-
14	7/28(火)	3	錦織 信幸 講師(非)		国際機関で公衆衛生課題に取り組む-世界保健機関での経験から-
15	7/28(火)	4	錦織 信幸 講師(非)		国際機関で公衆衛生課題に取り組む-世界保健機関での経験から-

事前準備	事前に指定する資料や文献を授業前に読み、ディスカッションに参加できるようにしておくこと
------	---

テキスト	初回授業時に配布する資料・文献等を指定する。
------	------------------------

参考書	World Health Organization 各年次報告書、World Development Report, Human Development Report等
-----	--

評価方法	・講義の課題10%、授業での発言と参加(課題の発表等を含む) 40%、最終課題 50%
------	---

科目名	国際保健学演習	code : HPM-GH 321	選択	2 単位
-----	---------	-------------------	----	------

科目責任者	高橋 謙造 准教授
-------	-----------

配当年次	1・2年次	配当学期	後期(前半)	曜日・時限	水曜 3・4時限	授業方法	演習
------	-------	------	--------	-------	----------	------	----

到達目標	国際保健分野のHot issueの概要について学ぶことを目的とし、特定分野(母子保健、PHC等)の文献を読み込み議論していく過程を通じて、具体的な政策提言を創出していくことを目標とする。				
授業の概要	国際保健分野の特定の課題を取り上げ、 1)何が問題なのか?について特定し、 2)どのような議論が交されてきたかを把握し、 3)具体的な政策提言を作っていく(英語、日本語いずれでも可だが、英語が望ましい)。				
授業計画	回数	日付	時限	担当者	授業内容
	1	9/16(水)	3	井上まり子 講師 高橋 謙造 准教授	オリエンテーション
	2	9/16(水)	4	井上まり子 講師 高橋 謙造 准教授	オリエンテーション
	3	9/30(水)	3	高橋 謙造 准教授	在日ニューカマー外国人の保健サービス
	4	9/30(水)	4	高橋 謙造 准教授	政策提言立案・プレゼンテーション(在日ニューカマー外国人)
	5	10/7(水)	3	高橋 謙造 准教授	Maternal Health
	6	10/7(水)	4	高橋 謙造 准教授	政策提言立案・プレゼンテーション(Maternal Health)
	7	10/14(水)	3	高橋 謙造 准教授	Newborn Health
	8	10/14(水)	4	高橋 謙造 准教授	政策提言立案・プレゼンテーション(Newborn Health)
	9	10/21(水)	3	井上まり子 講師	公衆衛生に対する住民ボランティアの活躍ーソーシャル・キャピタルー
	10	10/21(水)	4	井上まり子 講師	政策提言立案・プレゼンテーション(住民の力の活用)
	11	10/28(水)	3	井上まり子 講師	民間企業とBOPビジネス
	12	10/28(水)	4	井上まり子 講師	政策提言立案・プレゼンテーション(民間企業とBOPビジネス)
	13	11/4(水)	3	児玉 光也 講師(非)	緊急援助
	14	11/4(水)	4	高橋 謙造 准教授	緊急援助
15	11/11(水)	3	井上まり子 講師 高橋 謙造 准教授	総括討議	
事前準備	当日、簡潔な背景説明は行うが、文献類(事前に配布する)は読み込んでおくことが望ましい。				
テキスト	指定する文献・副読本を事前に読んで理解すること				
参考書	後日指定します				
評価方法	(1) 授業への積極的な参加(事前学習の理解度、討議での発言など) (20%) (2) プレゼンテーション(文献レビュー、演習結果、課題活動報告等) (40%) (3) レポート (40%)				

科目名	国際保健実習	code : HPM-GH 371	選択	1 単位
-----	--------	-------------------	----	------

科目責任者	山本 秀樹 教授						
配当年次	1・2年次	配当学期	冬季(12月)	曜日・時限	(個別設定)	授業方法	実習

到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・海外の国際協力の場における国際保健協力の実践を学ぶ。 ・海外協力の専門家と意見交換し、将来のキャリア形成について考える。 ・国際保健専門職として組織のマネジメント・経営について考え方の基礎を身につける ・国際保健における新しい潮流、特に社会的起業(entrepreneurship)の考え方を学ぶ
------	--

授業の概要	<p>近年、国際保健を取り巻く潮流の変化が生じており、従来の国連機関・政府機関が実施する国際協力から、民間の機関が果たす役割が大きくなっている。本年は、従来最貧国といわれてきたが、近年経済発展も著しく、社会的起業(entrepreneurship)やBOPビジネスのメッカともいえるバングラデシュ国を訪問し、同国における新しい国際協力のあり方について学ぶ事を予定している。</p> <p>なお、詳細な現地のプログラムは履修者の国際保健での経験や希望を考慮し企画する。訪問国の政情や自然災害等状況により実習実施が困難である場合については、実習場所と内容を変更することがある。履修者が3名以上に達しないときは、開講しないこともある。10人以上希望者がある場合は制限を行うこともある。本実習への参加の費用(渡航費・滞在費・海外旅行傷害保険料)は各自負担すること。</p> <p>自らが企画または海外の機関[提携大学も含む]が実施する既定の国際的コース等に参加する場合等、本実習と同等の意義があると認めた場合、実習として認定することがある。[実施時期等、要相談]</p>
-------	---

授業計画	回数	日付	時限	担当者	授業内容
	1	渡航前に別途指示		山本 秀樹 教授	導入:訪問地(バングラデシュ国)の事前学習 (渡航前) 11月24日〔火曜日〕午後、3時限を予定
	2	[12月22-29日]を予定]		山本 秀樹 教授	社会的起業・BOP(Bottom of Pyramid)ビジネスについて 日本Poly Gly社, Mothers House 社等
	3	同上		山本 秀樹 教授	現地学術研究機関 バングラデシュ国際下痢研究所(ICDDR,B) BRAC University School of Public Health (BRAC大学公衆衛生大学院)
	4	同上		山本 秀樹 教授	現地国連機関 WHO, World Bank, UNESCO, UNICEF, UNFPA等
	5	同上		山本 秀樹 教授	現地NGO DAM (Dhaka Ahsania Mission), AMDA, BRAC他
	6	同上		山本 秀樹 教授	医療施設訪問 Japan Bangladesh Friendship Hospital (JBFH)他
	7	同上		山本 秀樹 教授	帰路のシンガポールに寄港〔オプション〕 医療アシスタンス機関訪問(SOS社、現地クリニック)
	8	帰国後、レポート作成、報告会を行う		山本 秀樹 教授	帰国後のまとめ・討論・レポート作成について 報告会 2月5日〔火曜日〕午後、3時限を予定
<ul style="list-style-type: none"> ・バングラデシュに約一週間の現地滞在する予定である。(山本同行予定) ・帰路〔シンガポール経由〕にSOS社、現地クリニック訪問も検討〔希望者のみ〕 ・履修者は事前に公衆衛生学・国際保健学・国際開発学の観点からテーマを決めて実習にのぞむ。 ・現地訪問の日時については、12月下旬の冬季休業時〔12月22-29日〕を計画しているが、現地受け入れ機関の都合を調整して設定する。 ・現地訪問前と訪問後に担当教員と打ち合わせとまとめを行う。(日時は別途指示する) 					

事前準備	<p>本実習を履修するには、事前に保健医療政策概論、国際保健学概論、国際保健学演習の履修することを条件とする。</p> <p>履修登録する前に山本(hidekiy@med.teikyo-u.ac.jp)まで連絡をすること。</p> <p>本科目の履修者(単位取得希望者)は、全日程〔バングラデシュ部分〕に参加すること。</p> <p>課題研究報告会・課題研究論文作成の時期と重なるので、H28年3月修了予定者は本実習に参加する場合に留意すること。</p>
------	---

テキスト	・なし
------	-----

参考書	<ul style="list-style-type: none"> ・バングラデシュ国づくり奮闘記——アジア「新・新興国」から日本へのメッセージ、池田 洋一郎 (世界銀行職員、著) ・裸でも生きる—25歳女性起業家の号泣戦記、山口絵理子 (ハーバードビジネススクール日本支部、2012年度起業家大賞受賞者) ・BOPを変革する情報通信技術—バングラデシュの挑戦、グラミン銀行総裁 ムハマド・ユヌス序文、アシル・アハメッド/大杉 卓三 (著) 他
-----	--

評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・実習への参加(50%)、帰国後のレポート(50%) ・実習の形態によっては受け入れ先機関からの評価を考慮することがある。
------	--

科目名：	特別講義(保健医療政策学) (※1)	code：(※1) HPM 401~403	選択	1 単位
------	---------------------------	--------------------------	----	------

科目責任者	Andrew Farmery客員教授(※)
-------	-----------------------

配当年次	1年次	配当学期	冬季(1月)	曜日・時限	後日通知	授業方法	集中講義
------	-----	------	--------	-------	------	------	------

到達目標	<p>本講義の目的は疫学研究のデザインとデータ解析の概念的基礎を提示することである。この「基礎」には原因を定義する概念的根拠、因果推論の理解、疾患発生と曝露の計測、信頼性と妥当性を高めるためのコホート研究と症例対照研究のデザイン、データの解析と解釈のための量的方法が含まれる。本講義の修了生の到達目標は以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 批判的評価とデータ分析の技術を身につける ・ システマチックレビューの正式な過程を使ってエビデンス合成の性質と技術を理解する ・ 治療と診断に関する論文評価に必要な基礎的統計概念を復習する ・ ガイドラインの理論と作成を理解する ・ 臨床ガイドラインを評価する ・ 医療政策策定と資源配分の原理を理解する ・ 英国医療制度を理解する ・ 研究の価値の必要性を認識する
------	--

授業の概要	<p>本講義では臨床研究のメタ解析から臨床ガイドライン作成の過程を学ぶ。 (※1)年度により開講内容が異なる場合があり、I～IIIのいずれかを開講する。</p>
-------	--

授業計画	回数	日付	時限	担当者	授業内容
	1				Andrew Farmery 教授(客)
2				Andrew Farmery 教授(客)	批判的評価の理論(治療)・治療に関する論文の批判的評価(I)
3				Andrew Farmery 教授(客)	批判的評価の技術・治療に関する論文の批判的評価(II)
4				Andrew Farmery 教授(客)	ガイドライン・有効性の問題
5				Andrew Farmery 教授(客)	システマチックレビュー技術・臨床的問題の定義とプロトコル化
6				Andrew Farmery 教授(客)	批判的評価の理論(診断)・診断に関する論文の批判的評価(I)
7				Andrew Farmery 教授(客)	批判的評価の技術・診断に関する論文の批判的評価(II)
8				Andrew Farmery 教授(客)	ガイドライン・臨床研究の高価値化
9				Andrew Farmery 教授(客)	有効性の問題・診断検査の正確性に関する論文の批判的評価
10				Andrew Farmery 教授(客)	文献検索法・論文選定法
11				Andrew Farmery 教授(客)	批判的評価技術・システマチックレビューの評価
12				Andrew Farmery 教授(客)	ガイドラインの臨床導入・ガイドラインの批判的評価
13				Andrew Farmery 教授(客)	臨床医療のバリエーションと「共同意思決定」・バイアスの危険
14				Andrew Farmery 教授(客)	コクランバイアス危険ツール・システマチックレビューの評価
15				Andrew Farmery 教授(客)	メタ解析・医療政策と資源
16				Andrew Farmery 教授(客)	英国医療制度・評価

(各回終了後には、日本人教員による補講が行われる。)

※担当教員については変更となる場合があるが、その場合は記載がある予定教員と同等レベルの教員が任命される。

※また、具体的な授業日時については毎年9月-10月頃に設定され、決まり次第学生に対して通知する。

事前準備	事前にテキストや講義用資料が専用HP上に公開される。
------	----------------------------

テキスト	Trisha Greenhalgh: How to Read a Paper: The Basics of Evidence-Based Medicine Bjorn Andersen: Methodological Errors in Medical Research - an incomplete catalogue
------	--

参考書	講義で紹介。
-----	--------

評価方法	授業への参加、小テスト、最終日の提出物
------	---------------------